

研究協力のお願

昭和大学スポーツ運動科学研究所および昭和大学藤が丘リハビリテーション病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

後上方関節内インピンジメント症例における投球時疼痛と肩甲帯機能および肩甲上腕関節アライメントとの関係性

1. 研究の対象および研究対象期間

2016年4月1日から2019年3月31日までに昭和大学スポーツ運動科学研究所でメディカルチェックを行ったプロ野球選手と2015年4月1日から2024年11月30日までに昭和大学藤が丘リハビリテーション病院整形外科を受診した後上方関節内インピンジメント症例のうち、肩関節に疼痛がなく上肢最大挙上が可能であり、また、選手背景(年齢、身長、体重、既往歴、ポジション)、肩甲骨上方回旋角度、上位胸郭運動量、肩甲上腕関節アライメントが測定可能であった選手を対象とします。

2. 研究目的・方法

野球は本邦で人気のあるスポーツですが、その反面、投球障害肩の一つである後上方関節内インピンジメントの発生率が高いです。また、後上方関節内インピンジメント発症後の競技復帰率は高いとは言えません。後上方関節内インピンジメントの発症要因としては上位胸郭運動量低下や肩甲骨上方回旋可動性低下が挙げられ、また、投球障害肩の多くは上腕骨頭が前方偏位しているなど不良な肩甲上腕関節アライメントを呈していることが多いです。このように後上方関節内インピンジメントと肩甲帯機能、肩甲上腕関節アライメントとの関係性は過去に検討されております。しかし、臨床場面ではMRI画像で後上方関節内インピンジメント所見があるのにも関わらず、投球時疼痛がなく十分な競技パフォーマンスを発揮できている選手も存在します。このような臨床経験はあるものの、後上方関節内インピンジメントに伴う投球時疼痛がある選手と後上方関節内インピンジメント所見はあるが投球時疼痛がない選手の肩甲帯機能、肩甲上腕関節アライメントの違いについては過去に検討されておられません。これらの関係性を明らかにすることができれば、後上方関節内インピンジメント症例に対する理学療法の一助となると考えております。

本研究の目的は後上方関節内インピンジメント所見を有する野球選手のうち投球時疼痛ある選手とない選手の肩甲帯機能および肩甲上腕関節アライメントを比較検討することです。

2016年4月1日から2019年3月31日までに昭和大学スポーツ運動科学研究所でメディカルチェックを行ったプロ野球選手と2015年4月1日から2024年11月30日までに昭和大学藤が丘リハビリテーション病院整形外科を受診した後上方関節内インピンジメント症例の診療情報を利用します。選手背景

(年齢、身長、体重、既往歴、ポジション)と肩甲骨上方回旋角度、上位胸郭運動量、肩甲上腕関節アライメントを調査項目とします。

肩甲骨上方回旋角度は上肢最大挙上位での単純X線正面像を利用します。関節窩上下縁を結ぶ線と画像下端に対する垂線の間になす角度を測定します。

上位胸郭運動量は上肢下垂位と上肢最大挙上位での単純X線正面像を利用します。画像上での左右第1胸椎椎弓根上縁を結ぶ線分の中点と左右鎖骨近位端上縁を結ぶ線分の中点の距離を測定し、上肢下垂位と上肢最大挙上位での差分を算出します。

肩甲上腕関節アライメントは肩外転外旋位でのMRI画像を利用します。関節窩前縁と上腕骨頭との距離、関節窩後縁と上腕骨頭との距離、肩甲上腕関節水平外転角度を測定します。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2026年3月31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

2016年4月1日から2019年3月31日までに昭和大学スポーツ運動科学研究所でメディカルチェックを行ったプロ野球選手と2015年4月1日から2024年11月30日までに昭和大学藤が丘リハビリテーション病院整形外科を受診した後上方関節内インピンジメント症例の診療情報を利用します。選手背景(年齢、身長、体重、既往歴、ポジション)と肩甲骨上方回旋角度、上位胸郭運動量、肩甲上腕関節アライメントを調査項目とします。

5. 外部への試料・情報の提供

本研究で取得した診療情報は研究責任者が個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等の個人を識別できる情報を削除し、研究用のIDを付与することで符号化します。符号化した診療情報は昭和大学藤が丘リハビリテーション病院の外部から切り離されたコンピューター内にそれぞれ保存され、研究者のみがアクセス、閲覧できるようにします。

6. 研究組織

研究責任者 昭和大学スポーツ運動科学研究所 阿蘇卓也

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学スポーツ運動科学研究所

氏名：阿蘇卓也

住所：神奈川県横浜市青葉区藤が丘2丁目1番1号

電話番号：045-978-6302/5135(内線)

